Creative Enzymes®

ネイティブ・クロタルス・デュリッサス・ベノム L-アミノ酸オキシダーゼ

Cat. No. NATE-0368

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、L-アミノ酸オキシダーゼ（LAAO）（EC 1.4.3.2）は、化学反□を触媒する酵素です：L-アミノ酸 + H2O + O2 ↔ 2-オキソ酸 + NH3 + H2O2。この酵素は1944年にA. ゼラーとA. マリッツによって初めて記述されました。LAAOは分子量に関して非常に□動があるだけでなく、安定性に関しても大きく異なります。同□に、この酵素はアポトーシス誘導、浮腫誘導、出血、血小板凝集の抑制または誘導を含む無数の生物学的活動を行います。
用途	L-アミノ酸オキシダーゼ (LAAO) は、L-アミノ酸を□□するα-ケト酸に□換するために使用されます。この製品は、Crotalus durissusの毒から得られています。Creative EnzymesのL-アミノ酸オキシダーゼは、ロイシンアミノペプチダーゼ (LAP) 活性アッセイに使用されています。
別名	L-アミノ酸オキシダーゼ; LAAO; L-AAO; EC 1.4.3.2; 9000-89-9; オフィオアミノ酸オキシダーゼ; L-アミノ酸:酸素オキシドレダクターゼ (脱アミノ化)

製品情報

由来	クロタルス・デュリッサスの毒
形態	硫酸アンモニウム懸濁液；3.2 M (NH4)2SO4 懸濁液 pH 約6
EC番号	EC 1.4.3.2
CAS登□番号	9000-89-9
活性	3-8 ユニット / mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 6.5、37°Cで1.0μmoleのL-フェニルアラニンを酸化的脱アミノ化します。（L-ロイシンは、pH 7.8、37°Cで同じ速度で脱アミノ化されます。）

使用法とパッケージング

包装	タンパク質含有量に基づくパッケージサイズ

保管・発送情報

保存方法	2-8°C